

## 事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	1 交流を生み出し活力を取り込む	事業群主管所属	企画振興部政策企画課
施策名	(3) 海外活力の取り込み	課(室)長名	柿本 敏晶(担当企画監 北嶋 弘記)
事業群名	⑤ 統合型リゾート(IR)の導入	事業群関係課(室)	

### 1. 計画等概要

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

##### 《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

カジノを含む統合型リゾート(IR)の本県誘致を目指し、国際競争力の高い魅力ある基本構想を策定するとともに、国への働きかけのほか、地域別説明会の実施や、関係自治体・経済界等との県民組織の立ち上げなど、気運の醸成並びに県民の合意形成に取り組めます。また、長崎地域の特定複合観光区域の認定に向けた取組及びIR事業者との調整等を進め、誘致後には以下の事項を実現して、県勢の発展及び地方創生へつなげます。

- ・国内外からの新たな人の流れの創出、九州広域での連携による観光交流の拡大
- ・観光産業をはじめとする関係産業の安定的な発展及び雇用の創出
- ・公正かつ健全な運営の確保、国と連携した社会的リスク対策推進

事業群指標	最終目標(H32)	基準値	実績(H27)	達成率	【進捗状況の分析】 IR推進法案は、平成27年4月に国会へ再提出され、現在継続審議となっている。平成27年度は法案審議の動向を踏まえつつ、県民意識の醸成や官民連携体制の構築、社会的リスク対策などに取り組んだ。
県内での統合型リゾート(IR)の開業	開業	-	-	-	
<b>事業群の進捗状況</b>					

#### 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

##### 《取組項目及び現状と課題》

###### i) 基本構想の策定

- ・導入に向けた基本構想策定等への専門的見地から指導・助言をいただくため、特別推進アドバイザーを設置し、同職には「美原融氏(大阪商業大学 総合経営学部教授)」に就任いただいた。
  - ・「長崎IR構想骨子(案)」について、広く県民の皆様からの意見を伺うためにパブリックコメントを実施した。(実施期間: H27.3.24~4.24: 意見数26件)
  - ・米国ラスベガスで開催された世界最大のカジノ関係見本市(Global Gaming Expo)へブース出展。関係事業者とのヒアリング及び情報交換を行った。(実施期間: H27.9.29~10.1: 約30社と面談)
  - ・県福祉保健部との協議並びに先進地視察など依存症対策体制づくりのための準備を行った。
- (課題) 基本構想策定に向け、国内外の関係者やカジノ事業者とのヒアリングを深めるとともに、誘致候補地としての長崎をPRする必要がある。

###### ii) 県民意識の醸成

- ・IRに関する県民理解を深める取組として、県民(主として佐世保地区)を対象とした説明会を実施した。(実施日: H27.8.19: 約50名参加)
- (課題) 法案審議が進んでおらず、IRに対する世間の関心が低いことと併せ、制度内容が詳細不明であるために県民への説明が大枠なものになってしまう。

###### iii) 官民の連携

- ・IR導入に向けた合意形成を目指し、官民による推進体制の構築を図ることを目指し、県内市町並びに九州各県(主として企画、観光部局)へ説明に赴いた。
  - ・佐世保商工会議所、県、佐世保市の3者で首相官邸、自民党、公明党及びIR議連幹部へ要望活動を実施した。
- (課題) 法案審議が進んでいないこと。また、長崎へのIR誘致に対する合意形成は、県内市町及び民間団体とは図れているが、九州内関係者では九州へのIR誘致の合意に留まっていること。

## 2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				事業の成果等	中核事業		
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績			達成率	
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—			—	
取組項目 i ii iii	統合型リゾート導入検討事業	H26-	6,240	6,240	16,112	長崎県・佐世保市IR推進協議会	カジノを含む統合型リゾート(IR)の導入へ向けて、県民の声を踏まえた調査検討を行うとともに国の区域指定に向けた取組を行う協議会の活動費	活動指標	検討チーム会議(県・市・商工会議所・HTB)開催回数(回)	—	10	—	基本構想の策定に向け、構想骨子案のパブリックコメントや海外の見本市への出展を行うとともに、説明会の開催や依存症対策の体制づくり、県内、九州内での合意形成づくりに取り組んだ。	○	
	政策企画課		3,806	0	16,130				成果指標	国への申請(件)	1	0			0
											1	—			—

## 3. 検証及び問題点の抽出

### 【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

#### i) 基本構想の策定

基本構想の策定に関しては、構想骨子案のパブリックコメントに対する県民の反応は、法の審議が進んでない中、低調であった。日本の自治体初の取組となった米国G2Eへの出展はIR関係者の注目を集め、IRオペレーターの現地視察につながる等、長崎IRのPRにつながった。依存症対策の体制づくりは福祉保健部とともに取り組むことで部局横断的な活動を行うことができた。  
※G2E: Global Gaming Expo(スロットマシン、テーブルゲーム機器、保安システムなどのカジノ関係機器メーカーやIRオペレーターが多数参加するカジノ関係国際見本市)

#### ii) 県民意識の醸成

県民意識の醸成に関しては、IR導入に対する大きな反対の声はあがっていないが、依存症対策などの社会的リスク問題も含め、今後IRに対する理解を深めていく必要がある。

#### iii) 官民の連携

官民の連携に関しては、平成27年度に佐世保商工会議所でIR誘致推進特別委員会が発足するなど、誘致推進に向けた地元経済界の気運は高まっている。九州内での合意形成については、九州知事会や九州経済連合会などを活用していく必要がある。

## 4. 29年度実施に向けた方向性

### 【問題点解決に向けた方向性】

i) 基本構想の策定  
法案の動向を注視しながら、長崎IR基本構想策定に向けた各種の取組を引き続き行う。

#### ii) 県民意識の醸成

事業者団体などへの個別説明や、時宜に見合った県民への説明会を実施し、IR誘致への理解を深め気運醸成を図る。

#### iii) 官民の連携

県内関係団体による期成会発足に備え、各団体への個別説明を行う。九州内の合意形成については、他県の動きをみながら九経連や九州経済同友会などの協調を探る。また、長崎へのIR誘致についても引き続き官民一体となった国への要望を行う。

### 【個別事務事業の見直し】

事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
統合型リゾート導入検討事業	⑥	IR実施法制定後の国による区域選定を見据え、IR導入に伴う社会的リスクに対する地域の体制整備に向けた取組を強化する。	改善